

岩屋だよりー 9号

2012年(平成24年)8月吉日

セミしぐれの猛暑の中、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

ついこの前が正月、特に今年は辰年、「立つ年で目出度くやるぞー」という気持ちになったばかりでしたが、もう早いものでお盆の時期です。

光陰矢の如し、俳人松尾芭蕉は「奥の細道」の冒頭で、
「月日は百代の過客にして、行きかう年も又旅人なり。舟の上に生涯をうかべ、馬の口をとらえて老いをむかふる物は、日々旅にして旅をすみかとする。古人も多く旅に死せるあり、予もいずれの年よりか、片雲の風に誘われて、漂白の思いやまず・・・」と、うたいました。

子ども達には少し意味がむずかしいかも？ と言うよりまだその心境ではないので、ピンと来ないでしょうが、今から折りにふれて聞く機会が多いうたでしょうから、心の隅にとどめおいてくれれば幸いです。

8月5日(日)午後、岩屋中学校武道場にて、久しぶりの学童部(旧名:幼年部)中心の演武会を開催しました。

準備から本番まであまり時間がないにもかかわらず、24組の演武を無事行い、日頃の稽古の成果を少しですが父兄の方々などに見ていただきました。

暑い中いろいろ準備等、吉田さん、森脇さんらには特にお世話になりました。また、見物(応援)に来ていただいた元会員の小島 勝一さんお疲れ様です。



(中学生と学童部上級者会員による連続かかり稽古)



(父兄の方々も最後まで熱心に見学)

今後の行事予定ですが、おおよそ以下のとおりで今年残りも乗り切ってまいりたいので、会員各位の甚大な協力をよろしくお願いします。

・9月30日(日) 市民レクリエーションで、賛助演武2組の出場要請が来ております。場所は県立図書館上の市の体育館(武道場)

この頃は、北星館も所属している日本合気道普及連盟の総本山としても快く活用を承諾していただいている木村 功先生の道場が熊本県阿蘇市に完成し、その記念行事(先般の阿蘇市坂梨地区や手野地区などを襲った集中豪雨の復旧等もあって延び延びになっていた 木村道場は無事でした)があるかも知れませんが、留意しておいて下さい。

・11月17日(土) 長崎市内で普及連盟の第3回目となる、合同稽古を兼ねた交流会を開催します。九州各地の連盟所属道場から約50名参加するかと・・・

筆者、個人的には、会員の福田さんが退職後「人生の楽園？」として住まわれている長崎市琴海町のご自宅に一般会員有志でビール持参の上、一度おじゃましたいなと・・・その節は福田さんよろしくお願いします。